

2022年度 日本工学院専門学校

ダンスパフォーマンス科

専攻ダンススキル7

対象	2 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	安藤末緒			実務 経験	有	職種	ヴォーカリスト				

担当教員紹介

91年に渡米、米国バークリー音楽院に入学、ジョアン・ホイットカー、マギー・スコットら数々のアーティストを手 掛けた講師陣に師事、ヴォーカリストとしてのボディ・エクササイズや発声法を学ぶ。 自身もヴォーカリストとして活動を続けながら、独自のヴォイストレーニング法をまとめあげ、ボストン・ニュー ヨークにおいてヴォイストレーナーとして活躍。

帰国後、06年にパーフェクトヴォイス大阪校、東京校を開校し、アーティストのヴォイストレーニングを手掛けるほか、企業向けヴォイス講習でも定評がある。 現在も、国内外の芸能全般、新人育成からアーティスト、俳優、タレント、モデルまで幅広く育成している。

授業概要

このレッスンではダンスボーカリストとして必要な発声や歌唱実習、リズムトレーニングを中心にグループでのアンサンブルやダンスの構成まで総合的に学びます。ボーカルダンスを意識した呼吸法の習得を第一とし、その後の応用としてオーディション対策やグループを形成し発表を行います。授業以外でも毎日実践できる体操や呼吸法を授業内で指導しますので、自主練習をすることでより技術の習得ができます。

到達目標

この科目では発声の為の体の使い方、呼吸法を習得します。リズムトレーニングと合わせてダンスボーカルの基礎、応用を習得しますのでオーディション対策にもつながります。グループ指導の他、個人指導も行うので個人の特性に合わせた細かな指導ができます。学生がそれぞれの目標に向けて各自の長所を伸ばしながら短所を克服することが目標です。

授業方法

ボーカルの基礎となる呼吸法を習得するための演習を行います。必要に応じて課題曲の発表やグループでのアンサンブルを実施します。応用としてのステージング指導を行っていきます。実際にスタジオを使用しての発表会も予定しており、基礎的な授業から実践的な授業まで受ける事ができます。

成績評価方法

試験・課題	40%	試験と課題を総合的に評価する
平常点	60%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

履修上の注意

課題曲は基本的に各自準備しておくこと。学んだメソッドを毎回復習してレッスンに臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

必要のある場合はプリントを配布する

回数	授業計画
第1回	ガイダンス/メソッドについての説明、個々のスキルチェック
第2回	発声基礎練習と体の使い方①/基本を理解する（チェストヴォイス、ヘッドヴォイス）
第3回	発声基礎練習と体の使い方②/基本を習得する（チェストヴォイス、ヘッドヴォイス）
第4回	発声課題による基礎トレーニング①/基本を理解する（実践）
第5回	発声課題による基礎トレーニング②/基本を習得する（発表）

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
専攻ダンススキル7	
第6回	歌唱実習①/個人練習
第7回	歌唱実習②/個人発表準備（ダンス付）
第8回	歌唱実習③/発表
第9回	課題曲を使ってのトレーニング①/実践してみる
第10回	課題曲を使ってのトレーニング②/発表準備
第11回	課題曲を使ってのトレーニング③/発表
第12回	ステージ発表準備①/グループの決定、曲の決定、担当分け
第13回	ステージ発表準備②/実践練習
第14回	ステージ発表/ステージ発表
第15回	総評/まとめ